

# 事務事業評価シート

(H.29)No.	1056	(H.28)No.	1056
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ブックスタート事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども家庭室	福地 さおり	

会計区分	事業コード	196101
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	ブックスタート事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	ブックスタート事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
絵本を媒体として親子がコミュニケーションを図るきっかけとなり、赤ちゃんや絵本を開く時間の楽しさを実感し、親子が触れ合うことにより子どもの情操を豊かに育むとともに、子育ての負担感を軽減し、地域全体で子育て支援の輪を広げる。
事業内容
生後5～6ヶ月の乳児を持つ家庭を対象に、市立図書館・子ども支援センターかがやき・マイ保育ステーション赤目保育所において、ボランティアの協力により絵本の読み聞かせなどを行いながら絵本を配付する。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の配付、読み聞かせ</li> <li>絵本受取者数:361人</li> <li>開催施設:市立図書館</li> <li>子ども支援センターかがやき</li> <li>マイ保育ステーション赤目保育所</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の配付、読み聞かせ</li> </ul>

H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
絵本の配付、読み聞かせ	絵本の配付、読み聞かせ	絵本の配付、読み聞かせ

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		273千円		456千円	456千円	456千円	456千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他(寄附)		273		456	456	456
	一般財源	0	0	0	0	0	0
人工数	職員		0.27人		0.12人	0.12人	0.12人
	臨時職員等		0.05人		0.10人	0.10人	0.10人
②概算人件費	0千円	2,110千円	0千円	1,070千円	1,070千円	1,070千円	1,070千円
①+②総事業費	0千円	2,383千円	0千円	1,526千円	1,526千円	1,526千円	1,526千円

## 4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
事業実施後、参加していない家庭に、事業参加の案内を再送し、事業参加者の拡大を図った。参加者にアンケートを実施し、事業のあり方について関係部署と連携を図りながら事業内容について検討を重ねている。事務事業の見直し・廃止等にかかる取組として、企業及び個人からの協賛金(寄附金)を募ることにより事業を推進する。ボランティアの協力により絵本の読み聞かせなどを実施している。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等) 配付場所を保健センターから赤目保育所内にあるマイ保育ステーションに変更したことにより、同所で開設している健康・子育て支援室の「産後ママゆったりスペース」や保育幼稚園室の「マイ保育ステーション」事業の利用促進にもつなげることができ、子育て支援施策へのつなぎの役割も果たしている。 28年度から協賛金を募り、併せて、事業経費削減の取組も実施した。本事業自体は、単年度で成果が見えてくるものではないので、今後も企業訪問等により、新たな協賛企業等の協賛者拡大に積極的に取り組み、継続的な事業実施に努める。	6. 事務事業の取組に関する市の計画 ぱりっ子すくすく計画 子ども読書活動推進計画